

あかね雲



2017.11.20 NO.157

湧水 ゆうすい

「みんなの笑顔のために」

町立奥出雲病院 森長 久美子



当院は、少子高齢化の進む中山間地にあり、町内で唯一の入院施設があります。医療従事者不足は常に大きな問題で、看護師も不足していますが、近年は新入職が毎年あるようになりました。雲南圏域の多施設合同で新人教育を行い、研修効果を上げています。医師不足は看護師不足よりも深刻で、医師の負担軽減が看護師の役割の一つとなっています。現在は、看護師が長期研修を行けるほどの余裕はありませんが、今後は認定や特定行為の研修に出かけてスキルアップをはかり、医師の補完的役割を担うことができればと思っています。それまでは、患者さん個々のケア、感染管理、医療安全、認知症ケア、褥瘡対策、退院支援など一つ一つの看護を大切にし、患者さんやご家族に安心して療養していただける看護を提供していきたいと思っています。患者さんやご家族が喜んでくださることが、私たちの喜びです。



発行／公益社団法人島根県看護協会

発行責任者／秦 美恵子 編集／広報委員会

第48回日本看護学会－精神看護－学術集会

学術集会準備委員会委員長 石橋 照子(島根県立大学)

学会メインテーマを「こころを紡ぐ、地域を紡ぐ、縁を結ぶ精神看護のさらなる挑戦」とし、第48回日本看護学会精神看護学術集会9月29日・30日に島根県民会館で開催しました。2日間とも澄み切った秋空に恵まれ、1052名の皆様に熱心に学会に参加していただき、学会主催者としてホッとしています。



学術集会大会長 春日順子



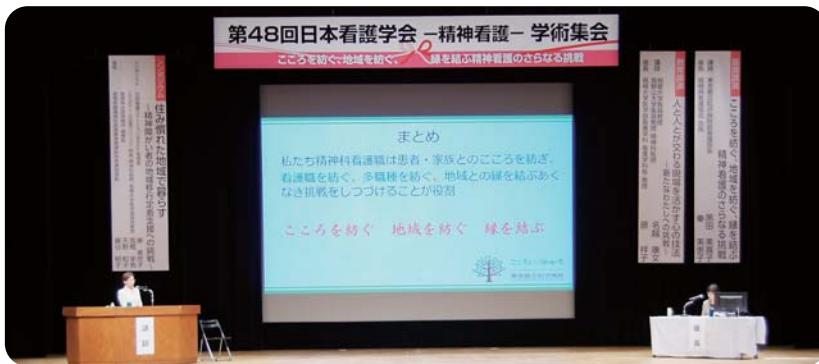
日本看護協会会长 福井トシ子



溝口知事

開会式の後、島根県立大学石見神楽舞演社による勇壮な石見神楽「八幡」を皮切りに、研究発表128演題が発表されました。「退院支援」など関心の高い発表会場では、準備していた150席が満席で会場に入りきらない状態で、急遽座席を増やすなど嬉しい対応となりました。ポスター会場も盛況で、皆さんのがきちんとマナーを守ってくださいり、発表時間が終了しても活発に意見交換されていました。

基調講演は、東京都立松沢病院前看護部長の黒田美喜子氏から長年看護管理者として精神看護の発展に取り組まれた職業人生のお話があり、大変感動しました。教育講演は、テレビ等でご活躍中の精神科医師名越康文氏が、性格分類を活用し上手に人とつきあっていこうというお話をされました。軽快な口調と鋭い人間観察の例示に笑いの中に知恵と元気を得ることができました。講演終了後サイン会が行われましたが、長い行列ができ先生のお人柄と人気の高さを感じました。



文氏が、性格分類を活用し上手に人とつきあっていこうというお話をされました。軽快な口調と鋭い人間観察の例示に笑いの中に知恵と元気を得ることができました。講演終了後サイン会が行われましたが、長い行列ができ先生のお人柄と人気の高さを感じました。



基調講演 黒田美喜子氏



島根県看護協会会长 秦美恵子



基調講演質問者

シンポジウムでは、3名のシンポジストが島根方式による精神障がい者の地域移行・地域定着に向けた地域包括支援の実際を紹介され、自分がしたわけでもないのにちょっと誇らしく嬉しく聞かせていただきました。

交流集会Iでは、震災は辛い出来事でしたが、被災地域住民の方と保健師・看護師による心温まる交流の様子を伺い、看護の大切さ、すばらしさを改めて感じました。交流集会IIでは、公開によるナラティブアプローチを行い、二人の語り手と講師の先生だけでなく、フロアの皆さんのが聞き手となり交流できました。

今回の学会では、運営に携わったスタッフ全員が、ホスピタリティーの精神で精一杯で務め、来場者の皆さんの笑顔に喜びと達成感を味わうことができ、貴重な体験をさせて頂きました。

来年は徳島で、再来年は福井で開催予定です。島根県から沢山の演題が出されることを期待しています。最後に、ご参加いただいた皆様、協力員の皆様、すべての皆様のご協力に感謝申し上げます。



名越康文先生



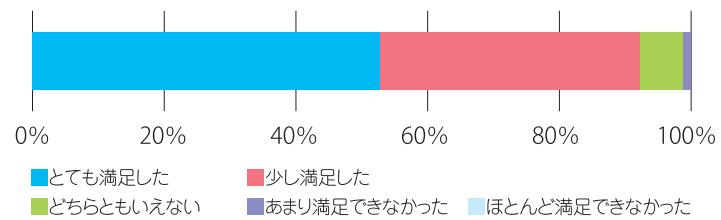
サイン会の様子



示説会場

学術集会の内容についての声

とても満足した	108
少し満足した	81
どちらともいえない	13
あまり満足できなかった	3
ほとんど満足できなかった	0



日頃悩んでいる内容に視点をあて、研究されていた皆さんを見て、自分も頑張っていきたいという気持ちになり、刺激になった。

自分を知ること、他人を知ることで、自分自身の人との関わり方が良い意味で単純に考えられるのではないかと思えた。
(教育講演)

一般病院に勤務しているが、ナラティブアプローチに興味があり交流集会に参加した。深く掘り下げる看護の語りを聞く中で共感できることもあり心地よい時間だった。(交流集会II)

研究にかかることで、自己効力感を維持することができる。島根県には初めて来県したが、充実した時間を過ごせた。街がきれいで、食もおみやげも観光もすべて良かったです。

人とのつながり等を大切に看護職としての誇りを持って働くことへの意識への再確認ができた。誠実さと人への関心が大切だと思いました。(交流集会I)

初めて学会に参加したが、一般演題だけでなく講演も充実しており、示説発表では細かな疑問もすぐに確認でき、とても参考になった。他の学会へもぜひ参加したい。

すばらしい企画でした。地域で暮らすことを支えられるように訪問看護さんや保健師、Drの話をきけて良かったです。病棟スタッフとして役立てたいです。
(シンポジウム)

島根県看護協会の動き(2017年9・10月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場所
日本看護協会	9月 3日(日)	助産実践能力認証CLoPMiP in とっとり	菱本理事	鳥取県看護協会
	9月 7日(木)	全国准看護師制度担当役員会議	石井理事	JNAホール
	9月14日(木)	都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会	春日局長	徳島県看護協会
	9月20日(水)	日本看護協会理事会	秦会長	JNAホール
	9月28日(木)	医療安全推進会議	石井理事	JNAホール
	10月 2日(月)	~3日 地区別法人会員会・職能委員長会	秦会長、徳若理事 3職能委員長	JRホテルクレメント高松
	10月 3日(火)	都道府県看護協会支部役員等研修	秦会長、徳若理事 松江、出雲、益田支部理事	香川県看護協会
	10月30日(月)	第3回認定看護師制度委員会	秦会長	JNAホール
島根県看護協会	9月 4日(月)	第3回理事会	秦会長、徳若理事、春日局長、植田局長	看護研修センター
	9月28日(木)	県議会看護問題議員連盟要望書提出	秦会長、徳若理事、植田局長	議事堂別館
	9月29日(金)	~30日 日本看護学会－精神看護－学術集会	日本看護協会福井会長他 島根県看護協会秦会長他	県民会館
	10月 6日(金)	圏域別看護関係者連絡会議(浜田)	秦会長、春日局長、栗谷、渡部	浜田ワシントンプラザホテル
	10月18日(水)	助産師出向支援導入事業協議会	秦会長、徳若理事、植田局長	サンラポーむらくも
	10月31日(火)	圏域別看護関係者連絡会議(大田)	秦会長、春日局長、栗谷、渡部	プラザホテルさんべ

理事会報告

◆第4回理事会 平成29年9月4日(月)10:10~16:00

【協議事項】

1. 平成29年度重点事業4 看護基礎教育の4年制化について
2. 平成29年度看護問題議員連盟要望について
3. 平成29年度職能委員会、常任委員会活動報告
4. 平成29年度ナースセンター事業報告
5. 平成29年度支部活動報告
6. 委員の交替について
7. 理事メーリングリストについて

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会及び法人会員報告
2. 日本看護協会担当者会議報告
3. 第48回(平成29年度)日本看護学会精神科看護学術集会について
4. 島根県看護協会の動きについて



島根県議会看護問題議員連盟に要望書を提出しました

9月28日に島根県議会看護問題議員連盟田中八洲男会長に秦看護協会長および川合看護連盟会長が要望書を提出しました。主な要望事項は「看護関連事業予算の確実な確保」と「看護基礎教育4年制に向けた制度改革推進」です。



職能委員会活動

『第1回保健師職能研修会を終えて』

9月9日(土)に出雲保健所で、「実践力アップの事例検討会～事例を読み解く技をみがこう～」をテーマにした研修会を開催し、25名の参加がありました。

事例検討は、保健師の対人支援活動において、対象への理解を深め、効果的な支援方法を探るための重要な手法です。さらに、その過程を通じて自らの専門技術や能力を客観的に見つめる機会にもなり、人材育成にも活用できることが期待されています。

今回は、日本看護協会開発の「実践力アップ事例検討会」の手法をDVD視聴で学んだ後、助言者の今若陽子氏(浜田保健所)と松嶋由香里氏(美郷町役場)の指導のもと、模擬事例検討会を行いました。

受講者自らが事例提供者となり、ファシリテーター、板書係、事例検討参加者の役割を決め、情報整理、アセスメント、支援策等について検討しながら、役割の確認や会の進め方、各ステップでのポイント及び考え方について実践的に学びました。



保健師職能委員 渡部 初枝

事例を多角的な視点で考え、個別課題から地域課題を捉え、さらに施策、社会資源の創設・発掘につなげることの大切さも学びました。

受講者から、「職場での事例検討に活かしたい」「今後も事例検討研修会を開催してほしい」などの感想が多くありました。また半数以上は経験年数5年未満であり、先輩保健師の視点や考え方等を学ぶ場として非常に良かったという声が聞かれました。さらに事例提供者からも、「多くの意見を頂き、支援は一人でするものではないと教えてもらえた大きな励みになった」と感想を頂くなど、受講者の満足度も高く、好評を得た研修会となりました。



委員会活動

「社会福祉経済委員会の研修会を終えて」

社会福祉経済委員会では、9月6日に「DVDによる看護補助者活用推進のための看護管理者研修」と題し研修会を開催しました。



社会福祉経済委員長 近原 博子

いくことが出来る研修になったのではないかと思います。看護業務の多種多忙化や慢性的なマンパワー不足のため、看護補助者へ委譲できることはしていくことも必要と感じました。また、他施設の看護補助者の業務内容や教育方法、雇用形態などの現状を情報交換する良い機会にもなったのではないかと思います。

H30年は診療報酬改定の年となります。今後も医療の動向を見ながらタイミングリーな研修会を企画していくたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



H28年度の診療報酬改定に伴い日本看護協会が作成された研修会のDVDを元に昨年と同様に企画しました。看護補助加算の算定要件となっていることもあり、各施設より主任以上の管理職66名の参加がありました。DVDの視聴による講義と小ワークとしての意見交換3回、7~8名によるグループワークを80分間行い、常に活発な意見交換ができました。看護管理者として、看護補助者の教育・評価・モチベーションの向上などの方法について考える機会となり、各施設に持ち帰り取り組んで

支部活動

「香りの癒しでセルフケア」第1回松江支部研修会を開催

松江支部長 佐々木 亜弥

松江支部第1回研修会を「香りの癒しでセルフケア」というテーマで、参加者116名のもとアロマテラピーについて開催しました。

最初に、講師の前田先生より、エッセンシャルオイルの使用方法や使用上の注意点、ハーブティの入れ方や、ハーブの種類によって異なる働きについて講義をしていただきました。その後、2人1組でマッサージオイルを使用したハンドマッサージを実際に行いました。オイルの香りでリラックスができ、また人にマッサージをしてもらう事は気持ちがよく、癒される時間となりました。参加者からは

「夜勤もある日々の業務の中では緊張と不安を感じ心と身体に負担がかかっていると思う事がある。今回のハンドマッサージを生活に取り入れながら、自分の疲れをとって心と身体の健康を保ち、日々の患者さんのケアにつなげたい」「自分だけでなく、疲れている人に癒しとして、実践してあげたい。優しい気持ちになった」と感想をいただきました。

今後も会員の皆さんの研修に対する思いや要望を聞かせていただきながら、研修を企画し、活発な支部活動に繋がるよう努力していきたいと思います。

テーマ

香りの癒しでセルフケア

講師 グリーンノート店長 前田美知恵先生



気軽に相談できる「まちの保健室」～地道な活動に確かな手ごたえ～

浜田支部長 大崎 恵子

高齢化、人口減少が深刻化するなか、浜田圏域の65歳時点での平均余命は、男女ともに7圏域中最下位、平均要介護期間はもっとも長いというデータが出ています。



「まちの保健室」は、地域住民の方々に直接触れ合い、健康増進、重症化予防に向け貢献できる事業です。昨年度の利用者総数は、常設型で254名、イベント型で346名と、多くの方に足を運んでいただきました。リピーターの方も多く、認知度も上がっていることを肌で感じています。先日、まちの保健室

の利用経験がある方から電話をいただきました。健康チェックの良い機会になるので、友人に紹介したいから開催場所や時間を教えてほしいとのことでした。

常設型は公共商業施設で開催するため、多くの方々に立ち寄っていただけます。しかし、二時間弱という時間で30人余りの測定や相談は、じっくりというわけにはいかず、効率的かつ効果的に行っていく工夫が課題です。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、浜田圏域の必要病床数の推計は32.6%減とされています。病院から在宅へのシフトは必至で、増え看護職への役割や期待が高まっています。私達は、看護協会の会員として、住民の期待にしっかりと応えていくとともに、将来の看護職を増やすようアピールにも力をいれてまいります。



第46回フローレンス・ナイチンゲール記章 受賞おめでとうございます

2年に一度、顕著な功績のあった看護師等に贈られる世界最高のフローレンス・ナイチンゲール記章を名古屋第二赤十字病院 伊藤 明子 看護部長が受章されました。伊藤さんは出雲市の出身で、昨年度の島根看護学術集会では特別講演をしていただきました。誠に喜ばしい受章であり、心よりお祝いしたいと思います。



平成29年度島根県総合防災訓練に参加しました



島根県における県民の防災意識の高揚を図ることを目的とした「平成29年度島根県総合防災訓練」が、10月21日(土)に安来市の中海ふれあい公園を会場に開催されました。今年は平成29年度緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練(部隊運用訓練)が同時開催され、展示ブースのみの参加となりました。

島根県看護協会からは災害支援ナース、災害看護委員、雲南支部長、男性看護師委員、看護協会理事の総勢9名が訓練に参加しました。展示内容は災害発生時における健康教育として感染予防をテーマとし、感染管理の基礎的知識についてポスター展示と資料の配布を行いました。会場には多くの来場者がおりましたが、殆どの人が緊急消防隊の合同訓練の見学が目的で、看護協会への展示ブースへの来場者は数名にとどまり、感染に関する知識の普及には至りませんでした。

しかし、来場者が少ないことが幸いし、普段目にすることのない大がかりな合同訓練の様子を交代で見ることが出来ました。中国・四国の各県から消防車両150台が出動する様は壮観で、大洪水で取り残された被災者を防災ヘリで救助するシーンは、その隊員の機敏な動きに思わず感嘆の声があがりました。近年、大規模な自然災害が頻発し、いつどこで被災するか分かりません。災害時に備え、普段からのトレーニングがいかに大切であるか考えさせられた一日となりました。

島根県看護協会は災害支援ナースの育成と支援を行っています。一人でも多くの看護職が災害支援ナースとして登録されるようお願いいたします。



緩和ケア認定看護師誕生!!

緩和ケア認定看護師への質問

- ① 看護職経験年数
- ② CNをめざした動機
何故CNになろうと思いましたか
- ③ 県内の教育機関で学べたことのメリット
- ④ 今後の抱負



浜田医療センター 水野 綾花

- ①10年目
- ②臨床で、患者さんやご家族がもっと苦痛なく過ごすことができる援助はないかと悩むことが多く、専門的な知識・技術を学びたいと考え教育課程を受講しました。
- ③県内の教育機関であったため、研修を修了した今でも、支え合える仲間が近くにいることを心強く感じています。
- ④皆さんとの連携・調整をとおして、その人らしく生きることを支援していきたいと考えています。



益田赤十字病院 土佐 めぐみ

- ①21年
- ②「その人の最期までその人らしく生きるために」どのような実践が必要なのかを考え、緩和ケア認定看護師を目指していました。
- ③県内で緩和ケア認定看護師教育課程が開講し、私生活での安心感がありました。また、県内の医療体制を知り、自施設での活動を見いだす環境もありました。
- ④今後の活動では、患者家族の意思決定支援を行い、その人にとって可能な限りのよい生であるように看護実践していきたいと考えています。



益田地域医師会病院 澄川 久美子

- ①経験年数は25年です。
- ②病棟勤務を経て訪問看護に従事し緩和ケアにより意識しました。患者家族の苦しみに対応する時、自分の関わりの未熟さ知識不足を感じ、知識や技術を身につけていたいと認定を目指しました。
- ③県内だからこそ挑戦出来たと思います。
- ④まずは学んだことを基礎とし、さらに自己研鑽を重ね、患者家族の思いに寄り添い、「その人にとってより良い看護とは何か」を常に聞いかけて行きたいと思います。



津和野共存病院 松本 恵子

- ①20年
- ②身内ががんに罹ってしまい、苦痛緩和はとても大切だと感じ、その時緩和ケアを知り、緩和ケア認定看護師を知りました。しかも、県内に教育課程が開校されたことが認定看護師を目指した理由の一つと言えます。
- ③家庭を持つ者にとって県内で学べる事は大きな志望動機になります。
- ④今後は地域の中で緩和ケアの啓発に努めていきたいと思います。



海士診療所 淀 みゆき

- ①16年
- ②生まれてから90年近く島で暮らしてきた方が最期を島から出ていかなければならぬ現状に、島の医療者である私達は今何をすべきだろうと考えさせられたことです。
- ③自施設と本土の専門医療機関と連携を行う上で県内の多くの看護師と顔の見える関係を築けたことです。
- ④島民一人ひとりの最期を島全体で支えていくことを目指し、町内の医療・介護・行政がさらに連携を強化し充実できるように緩和ケア認定看護師として貢献していきます。



隠岐病院 杉原 幸子

- ①20年
- ②治療や症状について不安を抱きながら頑張っている患者と、大切な人を支えようとしている家族の辛さに幾度となく直面しました。病気と向き合う患者と家族の辛さを和らげ、その人らしく生きることを支える手助けができると緩和ケア認定看護師を志しました。
- ③県内の教育機関で学んだことがきっかけとなり、ネットワークの拠点となっている点です。
- ④コミュニケーションを大切に、多職種と協働し地域との連携体制を強化していきたいと思います。



浜田医療センター
益田赤十字病院
益田地域医師会病院
津和野共存病院



雲南市立病院 竹田 知華

- ①12年
- ②一般病棟で緩和ケアを必要とする患者、家族と関わる中、ある終末期の患者、家族との出会いがありました。そこで一般病棟で緩和ケアを実践する難しさを痛感しました。根拠を元に緩和ケアを実践できるようになりたいと思いを目指しました。
- ③自宅から通学が可能で、小さな子どもを育てながらでも学ぶ機会を持てた事。
- ④地域の緩和ケアの充実を目指し、多職種と協力しながら患者、家族にとって身近な看護師になれるよう努力します。



新規登録者紹介



海士診療所



隠岐病院



松江赤十字病院
松江医療センター
松江記念病院
松江市立病院

島根大学医学部附属病院(2人)
出雲市民病院
雲南市立病院

島根大学医学部附属病院 園山 純子



- ①17年
- ②多くの患者さんと関わる中、ありがとうが忘れられず、さらに知識や技術を深め、一人でも多くの方の笑顔がみたいと思い認定看護師を目指しました。
- ③今回県内の教育機関で学べたことは、家族や友人、上司などの励ましを感じ、最後まで乗り切ることができたと思っています。
- ④患者さんやご家族、一人ひとりとの出会いを大切に、心身の苦痛に耳を傾け、それぞれの人生に向き合い支援していきたいと思います。

出雲市民病院 池田 麻美



- ①16年
- ②がん患者だけでなく非がん患者がその人らしい最期を迎えるために、自分たちは何をしたらよいか考えたこと。
- ③がん診療拠点病院をはじめ県内の医療機関の看護師と顔の見える関係を築けたこと。また県内の認定看護師・専門看護師の授業を受け、実際にどの様な活動をしているのか知れたこと。
- ④患者・家族の話を聴き、その人が望む生活が送れるように他職種との連携を強め、チーム医療の充実に貢献していく。

松江赤十字病院 松本 愛

- ①19年
- ②患や治療の副作用により、今までできていかることができない辛さを抱え、症状緩和が困難な生活の質が低下する患者を目の当たりにし、患者家族が抱える苦痛を理解しその思いに寄り添いたい、苦痛緩和に力を注ぎたいと思ったこと。
- ③自施設以外での多くの人的資源を得られたこと。
- ④苦痛を総合的に判断し、個別的なケアの計画・実践・評価を行い、患者のQOL維持・向上を目指し、緩和ケア認定看護師として役割発揮していきたい。

松江医療センター 清水 里夏子



- ①13年6ヶ月
- ②自分の知識、技術に自信をつけたかったことがありました。がん診療における経験、自信はへし折られ、根本から考えを改めさせられることになりました。
- ③県内のがん診療連携拠点病院、それ以外の病院・在宅療養施設のネットワークができたことは大きいです。
- ④一般的な概念に当てはめず、対象の方とご家族が、その方らしい「生」を営むためにより良いサポートと一緒に考えるプロセスを大切にします。

松江記念病院 訪問看護ステーションあゆみ 白根 真美



- ①21年
- ②苦痛を抱えたまま最期を迎えた患者様を担当したことがきっかけとなり、苦痛を緩和し、その人らしく最期を迎えることができるような看護実践がしたいと考え目指した。
- ③通学できる距離で、普段どおり家事もできて、家族のそばで精神的に安定しながら学ぶことができた。
- ④利用者様とご家族の思いを聴かせていただき、寄り添いながら人生最期の時まで、可能な限り住み慣れた家で安心して暮らしていくよう多職種と連携して支えていきたい。

松江市立病院 石川 美奈



- ①約9年
- ②緩和ケア病棟の患者・家族だけではなく、在宅や一般病棟の患者・家族にもQOLを維持できる看護を提供したいと思い受講を希望しました。
- ③4人の子育てをしながら受講することができました。また、島根県内の受講生が多かったため、他施設の状況について理解することができました。
- ④患者・家族が抱える苦痛を理解し、他職種と協働しながら、その人らしく日常生活を過ごすことができるよう支援を行っていきたいと思います。

島根大学医学部附属病院 打田 絵里世



- ①16年
- ②がん患者さんやご家族が身体も心も苦痛なく過ごすことができるよう関わっていける看護師になりたいと認定看護師を目指しました。
- ③自宅から通いながら住み慣れた環境で学べてもらうことができました。
- ④これからもがん患者さんやご家族の思いを聴き、寄り添い、医療スタッフと共に考えながら緩和ケアを実践していきたいと思います。

ナースセンターだより

平成29年度 看護職の勤務環境改善事業 メンタルヘルスサポート研修会

この研修は、「自身のセルフケア能力を機能させて、職場のポジティブ・メンタルヘルスを高める」ことを狙いとして、昨年度からスタートしました。

今年度は9/7に西部(いわみーる)、9/20に東部(看護研修センター)の2会場で開催し、のべ47名の参加者がありました。

講師は島根大学教育学部の足立智昭准教授(臨床心理士)、自身の聴き方の持ち味や強み(リソース)をワークを通じて身体で実感する素敵なお内容です。なんと、受講生の皆さんの中聴力(10点満点)の平均点は5.5から受講後7.8までアップしました!働きやすい職場作りにつながることでしょう。



受講生の感想より

とてもスッキリした気分です。日々考えていることなど体系化していただけたような気がします。とにかくおもしろい研修でした。

はじめて会った方から自分では気付かなかつたリソースをたくさんみつけてもらい、うれしかったです。看護師になって初めて言われた言葉がたくさんありました。

傾聴する気持ちで普段からいるつもりでしたが、研修の中で自分を振り返り冷静に分析すると、もっともっとコミュニケーションに活かしていくけるもの自分は持っていると気付くことができました。

リソースシャワーはとても気持ちよかったです。明日から自分自身の聴き方の持ち味+今日学んだαで対応していきたいと思います。感謝日記、取り組みをしてみたいと思います。

職場だけでなく、子育てでも活かせる研修でした。とても気持ちもすっきりして、あっという間の時間でした。リソースシャワーをあげて、こんなにも嬉しい気持ちになるのかと。ポジティブに自分自身がなることを、まず心がけていきたいと思いました。

受講の皆さんには、「自己確認のためのチェックリスト」を12月にお送りします。感謝日記の効果はどうでしょうか!?

感謝日記とは

1日の終わりに、①その日うまくいったこと、②感謝したこと、③また起こってほしいことの3つのことを書き出すこと。幸福感を高めたりネガティブ感情の中和に効果があるようです。

就業を希望される方 移動ナースバンクをご利用ください!

就業相談会(移動ナースバンク)の予定

地域	松江	出雲	雲南	大田	江津	浜田	益田	隠岐
会場	ハローワーク 松江	県立中央病院 パルメイト出雲 3階和室	ハローワーク 雲南	ハローワーク 石見大田	済生会江津 総合病院	ハローワーク 浜田	ハローワーク 益田	ハローワーク 隠岐の島
時間	14:00~15:30				13:00~16:00			
実施日	11月22日(水)	11月16日(木) 11月 9日(木) 11月18日(土) 11月22日(水) 11月18日(土)	11月27日(水)	12月20日(水) 12月14日(木) 12月13日(水) 12月27日(水) 12月20日(水)	11月 8日(水) 11月 9日(木) 11月10日(水) 1月17日(水)	12月13日(水) 12月14日(木) 1月10日(水)	12月14日(木) 1月11日(木)	12月13日(水) 1月10日(水)
	12月20日(水)	12月21日(木)	1月11日(木)	1月10日(水)	1月24日(水)	1月17日(水)	1月10日(水)	1月10日(水)
	1月17日(水)	1月18日(木)						

*松江会場の11月は実施日が11月22日に変更されました。

「看護師等の届出制度」

○届出後、こんな動きで就職につながりました。

Aさんの場合

- 1 総合病院を定年退職する際、ナースセンターに届出。



- 2 ナースセンターから電話をもらう。しばらくゆっくりしたかったので、就業ではなく訪問看護師養成講習会の受講を決める



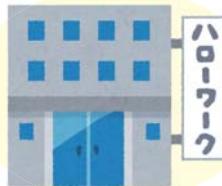
- 3 講習中にいろいろな看護師さんと出会い、今までの経験の振り返りもでき、充実した時間を過ごす。



- 6 求人条件で気になる施設の見学をセッティングしてもらう



- 5 移動ナースバンクにも行き、ハローワークの情報も併せて相談。



- 4 その間、ナースセンターで、いろいろな求人施設の紹介や働き方の相談にのつてもらう。



- 7 自分で納得できる施設だったので、正式に採用試験を受ける



☆届出から1年、訪問看護ステーションに就職しました。
在宅で看護師として新たにキャリアをスタートでき充実しています。

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/> とどけるん

お仕事を辞める時や、今お仕事をされていない看護職のみなさん、ナースセンターに届出をぜひお願いします。

平成29年度シミュレーション研修2 【静脈注射】が開催されました。

8月24日(木)25日(金)の2日間、島根大学出雲キャンパスにおいて「臨床現場で安全・正確に静脈注射を実践できる看護職を育成すること」を目的に開催されました。

復職を考えている看護職や病院・福祉施設・クリニックで勤務している看護職8名(内未就業者:3名)が受講し、薬剤と静脈注射の基礎知識を学び、技術演習と技術トレーニングをうけました。



受講生の声

- 曖昧な知識から正しい知識が学べた
- 資料がわかりやすく、講師の説明もわかりやすかった
- 実際に体験できたことで自信につながった
- もっと練習・実践がしたかった、演習時間がもう少しあればよかったです

ホットひといき

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」を実感して

出雲医療看護専門学校 及川 登美子



都会の地下鉄に乗っていたときのこと、どの人もみなスマホを見ています。ガラケーで何の不自由もないと思っていたましたが「変え時だ」と感じました。遅ればせながらのスマホ初心者ですが、最近、万歩計のアプリで楽しみを見つけました。1日に数百歩の時もあれば1万歩歩くこともあります。愛犬のあんずと散歩し、何歩歩けたかスマホで確かめるのが楽しみになりました。近所の人と挨拶しつつ「何歳までこうして歩けるかな、ここで暮らし続けたいな」と思います。

私は在宅看護論を担当しています。実習をさせていた

だく度に療養者様や家族様の「できるだけ在宅で暮らし続けたい」思いや、訪問看護ステーションやたくさんの職種の方々の「支えていきたい」思いを実感します。

病気になったり、体が衰えたりしても、なじみのある地域で最後まで安心して暮らせるよう、医療や介護事業者、住民の方々など様々な分野の人たちが一体的にサポートするシステムづくりが課題となっています。75歳以上が急増する2025年が迫り、診療報酬と介護報酬を見直す2018年同時改訂に向けた議論の行方に注目していきたいです。

お知らせ / INFORMATION

ホームページをリニューアルしました!

スマートフォン・タブレット対応で、画面も大きく見やすいレイアウトになりました。

人びとの健康な生活の実現を目指して

■ 病院・研修
■ 島根県ナースセンター
■ 看護の書き走り

■ 入院のご案内
■ 横断看護
■ 入院看護
■ 出院看護

医療安全管理者交流会(パネルディスカッション)

日 時:平成29年12月3日(日)10:00~11:30
テマ:医療安全管理における日頃の取り組みと工夫
会 場:くにびきホール(出雲市役所)

平成29年度医療安全推進研修会

日 時:平成29年12月3日(日)13:00~15:30
テマ:医療事故調査制度の現状と課題
講 師:一般社団法人 日本医療安全調査機構 常任理事
木村 壮介氏
会 場:くにびきホール(出雲市役所)

男性看護師会研修会(シンポジウム)

日 時:平成29年12月16日(土)13:00~16:00
テマ:男性看護師がいきいきと働くために、
今自分が思うこと
会 場:島根大学医学部付属病院 ギャラクシー

支部別・職能別会員数(合計)

(平成29年10月22日現在)



編集後記

第48回日本看護学会精神看護学術集会を無事に終えることが出来ました。関係者一同おもてなしの心をキヤッヂフレーズに対応しました。お陰様で来場された多くのみなさまに喜んでいただくことができました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

公益社団法人島根県看護協会

〒690-0049 松江市袖師町7-11
TEL.0852-25-0330 FAX.0852-25-3157
<http://www.shimane-kango.or.jp> E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp